

バリアフリーってなんだろう？

見えないバリアに気づこう

「バリア」とは、じゃまになるもの、こまらせるものことです。たとえば 車いすの人にとってのかいだん目の見えない人にとってのあん内のなさなどです。

「バリアフリー」とは、そうしたバリアをなくしてだれもが安心して生活できるようにすることです。

バリアフリーがあることで お年よりやけがをした人、小さな子どもにもやさしいまちになります。



えみのひとこと

バリアフリーは私たち小さな子どものためでもあるんだね

東武宇都宮線のバリアフリー

こんなところにあるよ♪

「エレベーター・スロープ」

かいだんを使わずにホームまで行けるように、「エレベーター・スロープ」がせっちされています。車いすの人やベビーカーの人にはとても助かりますね (おもちゃのまち駅)



「点字ブロック」

ホームや改札口には、黄色いボコボコした「点字ブロック」があります。これは目の不自由な人が安全に歩けるように道案内をしてくれるものです (西川田駅)



「多目つきトイレ」

車いすでも入れる広いトイレや おむつがえの台があるトイレなど、色々な人が利用できる「多目つきトイレ」がせっちされています (安づか駅)



「ゆうせんせき・車いすスペース」

電車の中には、お年よりや体の不自由な人、にんしん中の人などがゆうせんせきで座れる「ゆうせんせき」や「車いす」をこ座できる「スペース」があります (全駅)



みんなにやさしい鉄道へ♪

バリアフリーのひみつをさぐろう♪

みなさんは、駅や電車をリ用するとき、どんなことに気づいていますか？ たくさんの方がリ用する鉄道には、体の不自由な人やお年より、小さな子どもをつれた人など、色々な人がいます。そんな「みんな」が安心してかいてきに使えるように考えられたのが「バリアフリー」です。今回は、鉄道のバリアフリーについて、その工夫と大切さをさぐってみました♪



えみのひとこと

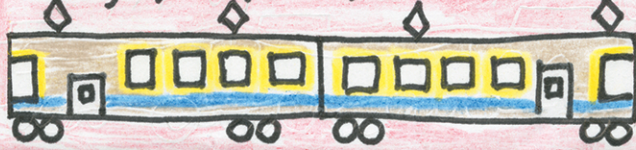
私たちの小学校から一番近い西川田駅で調査してきました

東武宇都宮線 バリアフリー

新聞

西川第一小学校

うがじん えみ



バリアフリー料金ってなに？

みなさんは電車にのるとき、きっぷの中に「バリアフリー料金」が入っていることを知っていますか？

だれでも安心してつかえるようにするにはバリアフリー化が大切です。そのためにはたくさんのお金がかかります。そこでみんなが買うきっぷの中に少しだけ「バリアフリー料金」がふくまれているのです。

一回のきっぷでかかるのは、だいたい10円ほど。小さなお金ですがみんなが協力することで大きな力になります。

このお金のおかげでだれもが安全に電車にのれる駅がふえていきます。

えみのひとこと

バリアフリー料金は、みんなで作るやさしい未来へのきっぷなんだね



西川田駅のバリアフリー化

西川田駅では、栃木県総合スポーツゾーンのせいに合わせて駅が新しくなりました。このリニューアルで東西をむき自由つうがができ、エレベーターがせっちされてバリアフリー化がすすみました。これは私たちにとっても便利になったことです。

えみのひとこと

昔はエレベーターがなかったなんてしらなかった

へん集後記

今回の新聞作成をして、いつもなにげなく使っている鉄道にたくさん人の「やさしさ」がふくまれていることに気づきました。

私たちにできることは、バリアフリーせっちをさらにふたり、こまていいる人を見かけたらうすうすに手助けをすることです。一人ひとりの心のバリアフリー化がててもオッパだと思いました。